相模原市青少年指導委員 広報誌！

第72号

相模原市青少年指導委員
連絡協議会

発行編集 広報部
発行責任者 齊藤一城

はげいとう

特集：各地区おすすめの社会見学コース

5.26 全体研修
ウォークラリーより

■はげいとう の名称について

1968年青少年指導員制度が制定され、同年9月、『青年の家』で宿泊研修が行われました。青年の家の庭に咲いていた『ケイトウ』の花が夕映えに輝き美しかったことや、ゲーム研修での『土びん、茶びん、はげ茶びん』が楽しかったことを忘れずにこの思いから、広報誌を作成するにあたり、『はげいとう』と名付けられました。

よろしく
お願いします。

相模原市行政職員からのご挨拶

子ども・若者未来局 子ども・居場所づくり担当部長 有本秀美様

4月に着任いたしました有本と申します。青少年指導委員の皆様におかれましては、日ごろから地域における青少年の健全育成にご尽力を賜り感謝申し上げます。子ども・若者全員が居場所のある社会の実現のため、本市は児童クラブや児童館などの放課後の子どもの居場所や、子ども食堂や無料学習支援といった地域主体の子どもの居場所づくりに取り組んでいます。今後もより一層の子ども達が楽しく幸せに過ごせる居場所づくり実現のために、地域の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

子ども・若者応援課長 櫻井敏朗様

子ども・若者支援課から改めて子ども・若者応援課に着任しました櫻井です。さて、この4月に相模原市子育て応援条例が制定されました。子育て世代が社会全体に温かく見守られ、喜びを感じながら、安心して子育てできる社会の実現を目指すべく、子どもの居場所づくりや結婚を希望する人への支援に取り組んでまいります。また、青少年指導委員をはじめとする青少年関係団体の皆様とともに、子どもたちの体験活動や青少年の育成活動に尽力いたしますので、今後ともお力添えくださいますようお願い申し上げます。

>>> 子ども・若者応援課の皆さん <<<

特集

各地区「おすすめの社会見学コース」

『はげいとう』第 67 号特集で「各地区『お薦めの工作』情報」を紹介し、第 70 号特集で「各地区の子どもまつり」を紹介しました。共に、青少年指導委員が公民館の施設等を利用して行ってきた行事の中で、これは他地区にも紹介したい、あるいは使ってみては、やってみてはいかがですかと思えるお薦めの内容です。

今回、『はげいとう』第 72 号では、公民館の施設から離れた施設・場所等で行ってきた行事（社会見学、野外・屋外活動など）について、各地区でお薦めの内容をご紹介しますと思います。

各年度の初めに、あるいは前年度の終わりに、各地区の青少年指導委員協議会は当該年度の事業計画を立てる。その年度の事業計画に基づき各行事日程が近づくと、その詳細内容を作成する。そして、その内容を実施する。このように書くと流れは簡単です。

しかしながら、長年青少年指導委員に携わってきた経験豊かな者でさえ、行事日程が近づくと今年は何をしようかと頭を抱える日々が続くのではないのでしょうか。「工作」は決まったが「何を」作ろう。「社会見学」は「どこへ」行こう。ましてや、青少年指導委員になって 1・2 年の若手（年齢ではなく経験年数の若手）にはその日々は楽しみではなく、避けたい苦痛でしかない。もう時間がないという理由で、やむなく昨年と、あるいは一昨年と、いや何年か遡った「同じ出し物」を選択せざるを得なかったという経験があるでしょう。

以下にご紹介する「各地区の経験」が、青少年指導委員の経験年数を問わず、われわれ青少年指導委員全員の経験となることを期待して「特集：各地区『お薦めの社会見学』情報」を掲載しました。この第 72 号が、第 67 号・第 70 号と共に「座右の銘」とはいかなくとも、それに近い使い方ができるのではと期待しています。

相原地区 ★二本の松の由来

現在相原公民館近くの二本松交差点付近には昔、日枝神社「山王社」と言う神社があり、境内には多くの樹木がありました。

明治 4 3 (1910) 年頃、この木を切りましたが、大きな二本の黒松だけは残しました。

当時この付近には家もなく一面の畑で道ゆく人の夏には日差し、また冬には寒風を避ける場所として人々に親しまれており、昭和になってから土地のシンボルである、この二本の松の木にちなんで地名を「二本松」としました。

初代の松は樹齢 250 年で枯れてしまい現在は三代目となります。

橋本地区 ★リニア新幹線工事現場

数年後の開業を目指し着々と工事が進んでいる様です、リニア新幹線神奈川県
京王線橋本駅南口側の広大な敷地で工事は行われております。橋本地区も歴史ある場所などは数々ありますが今回は未来に向けての新たな取り組みであります駅新設に関するの見学をご紹介します。

もしかして新幹線の駅新設を自由に見学できるのは一生に一度しかないかもしれません。他地区の子どもたちにも是非橋本に来て見てもらいたと思います。

平日のお昼頃足を運んでみました。見学者は私の他に未就園児含め 7 名程いらっしゃいました。

受付は特に無くここからどうぞの様な入り口を入り積んだ土の上を昇って行く感じです。

途中には工事に実際使用している実物大の器具を展示していたり着工時からの経過の写真が飾ってたりします。

いちばん高い場所はちょうど京王相模原線と同じ目線の高さくらいになります。

そこから下を見下ろすと線路などを作っている様子も目に入ります。京王線に乗って見下ろしても良く見えます。

見学出来るのは毎週金曜日土曜日の 10:00~16:00 料金は無料、自由見学です。

京王線橋本駅南口より徒歩 1 分、一度ご覧に来て下さい。

工事現場

リニアひろば入口

トンネルの説明

小山地区 ★小山地区バスツアー

令和 6 年度のバスツアーは、コカ・コーラ多摩工場と所沢航空記念公園へ行きました。

小山公民館から 1 時間 20 分ほどでコカ・コーラ多摩工場へ到着。私たちに身近な清涼飲料水の製造ラインを見学した後は、お楽しみの瓶のコーラやジュースを試飲。映えるフォトスポットや体験コーナーもあり、笑顔はじけました。次に所沢航空記念公園へ。はじめに研修室で昼食をとった後、「航空発祥記念館」を 1 時間ほど見学。飛行機の歴史や飛ぶ仕組みなどを学んだり、実際に操縦席に座る体験をしたりと大人もワクワクする展示が多数。毎年バスツアーは真夏に行くことが多いので熱中症が心配でしたが、比較的屋内にいたことが多かったので、具合が悪くなる児童もなく、元気に帰ってくることができました。

コカ・コーラ多摩工場

所沢航空記念公園

大沢地区 ★相模原北公園

北公園といえば、バラ園と紫陽花がとて有名ですが、6 月に入ると約 200 種の紫陽花が大輪の花を咲かせます。特に、白く大きな花の「アナベル」が咲き揃うと迫力は素晴らしいものです。

あじさいだけでなく、ブラシの木やハンカチの木という珍しい樹木を探して歩くのも楽しいです。黄緑色の桜「^{きよいこう}御衣黄」などを愛でるなんていうちょっと優雅なお散歩を楽しむこともできます。

木漏れ日をあびながら土の上を散歩できる「郷土の森」は私の好きな場所です。

橋本駅からコミュニティバスでどうぞ。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/toshikotsu/1004854/1004860.html>

清新地区 ★読売新聞府中工場

清新では、いつも夏に社会見学に出かけます。

読売新聞の府中工場は、今まで何回も出かけたおすすめのスポットです。

新聞がどうやって印刷されているのか。

大きな機械が動く所や、印刷ラインを見られて大興奮できますよ～。

お弁当も部屋を使わせてもらえます。夏でも涼しくて良いですよ。

大きな機械に感動！

中央地区 ★夏休み体験教室 令和5年 8月2日 実施

8:30 公民館発 目指すは 宮ヶ瀬ダム 9:30着
エネルギー館で30分間ダムについて講義を受け、
展望塔で景色を満喫
後、エレベーターでダムの
底に到着。寒い!!! 底
の通路は1年中 16℃
の自然のクーラー。

11:00 から6分間の

観光放流を見学、川沿いに滝や石小屋ダムを見ながら20分徒歩
で移動。

11:30 あいかわ公園 パークセンター着

トイレ休憩後、センター前の子ども広場の 木陰にある小屋でグループ
毎に昼食、広い公園で様々なコースや企画もあるが、ふわふわドームで
遊んだ後、郷土資料館を見学。アケボノゾウの骨格標本は迫力あり。

13:30 バス乗車

10分で服部牧場到着。暑さのせいで牧場には牛はゼロ!なんと屋根
のある牛舎の中で扇風機に! 牛舎を見学後、アイス工房へ! 暑さ
を癒やすアイスに行列、ほっと一息。

14:30 バス乗車 帰路へ

横山地区 ★生命の星・地球博物館 小田原城 NINJA 館

横山地区では、1年おきに(バス台数制限の為)社会見学事業を行っています。

令和5年度は、生命の星・地球博物館と小田原城 NINJA 館に行き、地球の歴史を学び、NINJA 館では体
を動かしまるで忍者になった体験をしました。

令和7年度は3月に立川防災館に行く予定になっています。

小田原城

生命の星・地球博物館

大野北地区 ★ ～市内から県内へと広がる社会見学～

大野北では、「社会見学」は毎年の「ゆめ教室」事業の一つとして、小学 4 年生から 6 年生を対象に行っています。社会見学は遊びではなく、限られた時間の中で社会の様々な活動を「見て」「聴いて」「作って」の学びの場を提供しています。以下、最近の事例を紹介しましょう。

こんなものを作る

My 凧の凧揚げ

水槽の説明を熱心に読む子供達

★大凧センター見学と世界に一つだけの My 凧作り (れんげの里あらいそ内) ★大学施設とロボットシステム見学

さがみはらロボット導入支援センター(橋本)、北里大学内のバイオガーデン【薬草などの植物園】とアクアリウムラボ【水族館】、麻布大学内のいのちの博物館
近場の大学で中に入る事はなかなか無いと思います。このコースはおすすめてです。

人型ロボット動かないか？

薬草の説明を聴く子供達

麻布大の標本

～次は相模原市の外へ～

★博物館見学とちくわ手作り体験

神奈川県立生命の星・地球博物館(小田原)、鈴廣かまぼこ博物館(小田原) 鈴廣では竹輪作りを経験しました。なかなか難しい。写真は、並べられた材料。今年も子供たちにどんな経験をさせるか、新たな社会見学を企画検討中です。担当者は眠れない日々が続きます。

子供たちは想像力でタイムトリップ

並べられた竹輪の材料

block

星が丘地区 ★はまぎんこども宇宙科学館

今回ご紹介するのは、「はまぎんこども宇宙科学館」です。公民館での大人数でも対応可能で、30 名以上は予約制です。バスの駐車場もあります。受付に電話で相談すると、とても親切に対応してくれます。サイエンスショーも定期的に行なっており、日程が合えば、でんじろう先生のような科学実験を楽しむことができます。常設施設として、プラネタリウム、光のハープ、無限トンネル、握手ミラー、パラボラアンテナ、二項分布パチンコといった実際に触って体験できる実験や月面ジャンプ(小学生以上)、空間移動ユニット、手回しジャイロ、ジャッキ、重力ボールキャッチなど、体を使って宇宙を体験できる施設もあり、子どもにはとても楽しい施設です。場所的にも、横浜にあるので、1 日で十分楽しめます。

プラネタリウムもあります

疑似、無重力体験！

ボールマシン

光が丘地区 ★ロマンスカーミュージアム

光が丘地区でおすすめしたいのは、海老名駅にあるロマンスカーミュージアムです。

コロナ禍明けの夏休みのついで事業で小学 4～6 年生を対象に企画したところ、募集初日に定員に達するほどの人気でした。

第一の見どころは歴代車両が展示されているロマンスカーギャラリー。間近に見られ、運転席や展望席にも入れるなどの体験で好奇心を満たされました。

2 階にある「新宿から小田原、箱根湯本までの沿線を各種電車が走行する」ジオラマではプロジェクション・マッピングイベントが開催され、ビューテラスから眺めるとピーターパンのような気持ちになれます。

今年もロマンスカーミュージアムで準備を進めています。

新しいコンテンツもリリースされており、楽しみです。

陽光台地区 ★はまぎんこども宇宙科学館

はまぎんこども宇宙科学館を紹介します。

場所は横浜市磯子区陽光台、地上 5 階、地下 2 階の建物で小学生位の子供達が遊べる施設です。

HPがあるのでそちらを参考にしてください ➡ <https://www.yokohama-kagakukan.jp/museum/>

陽光台地区では 2024 年度の社会見学でバス 1 台を仕立てて行きました

空間移動ユニット

ボールマシン

ロボット Be-2

ネオンタワー

上溝地区 ★道保川公園

園内には、小川があり、水生植物やドジョウ、サワガニ、アブラハヤ、カエル、カワナナ、トンボ、チョウ類などの水辺の生き物が観察できます。カルガモの親子も人気です。

小川沿いには、セキショウ、クレソン、セリ、アシ、ツリフネソウ、ヒロハコンロンソウ、シャガ、スマレ、フキなどの植物が自生しています。また、ウグイス、ルリビタキ、メジロ、シジウカラ、カワセミなどの野鳥が観察でき、「さえずりの沢」で 6 月上旬から中旬までホタルが観察できます。

公園内には、竹林、クヌギ、コナラ、シラカシ、スギ、クスノキ、クリ、ウメ、ヤマザクラや、イヌツゲ、ヒサカキ、ヤブツバキ、マユミなどの様々な樹木も自生しており、夏にはセミ、クワガタ、カナブンなどの姿も見られます。

公園入口を入ってすぐにある池には、亀や鯉が泳ぐ姿が見られます。また、多くの水鳥の姿を見ることができます。池には、木製のデッキが延びており、周辺のベンチで池の景観を眺めながら、生き物の観察を楽しめます。

田名地区 ★田名散策

田名地区では毎年『田名散策』と銘打って地域を歩いて巡りながら歴史や文化を学ぶ機会をもっています。最終目的地は『畑』 みんなで芋掘りをして、食べてから解散となります。

散策スタート！

ここにも蛍が飛んでいた

おいもほり

主要産業の蚕☆
神さまと同じくらい大事にされました

用水路、堤防の建設、お米の増産
etc. 地域のスター江成久兵衛さん

洪水を防ぐため中島万平さんがトンネルを造り上げました。

新磯地区 ★新磯地区の社会見学イベント

新磯地区の公民館青少年部では、毎年夏の時期に、小学校低学年向けの社会見学を行っています。

高学年の児童数名には、お手伝いをお願いしています。

去年は、相模湖近くの和田の里体験センターに、バス一台で行きました。

事故などもなく、川遊びや、そば打ち体験などをして、みんな楽しく過ごしました。

今年は江ノ島水族館の予定です。

麻溝地区 ★生命の星・地球博物館 小田原城天守閣・NINJA 館

◆生命の星・地球博物館は、地球と生命の進化をテーマにした自然史博物館です。実物大の恐竜骨格標本や巨大な隕石、岩石、鉱物、化石、昆虫、植物の多様な展示をしています。ジオラマや体験型の展示が多く、地球の壮大な歴史と、そこに息づく生命の神秘を深く知ることができます。

◆小田原城は、戦国時代に北条氏の居城として栄え、現在の天守閣は復元され、内部は博物館となっており、小田原の歴史や文化、北条氏に関する貴重な資料が展示されています。

天守閣最上階からは、相模湾や箱根の山々を一望でき、絶景です。

NINJA 館

小田原城には「風魔忍者」と呼ばれる独自の忍者集団が存在したとされています。

- ・戦国シアター：戦国時代へタイムトリップ、小田原城を守るために風魔から「忍務」が言い渡される
- ・忍者体験ゾーン：風魔の一員となって「侵入術、水術、隠形術」に挑戦
- ・実践ゾーン：体験型シアターで敵の忍者と戦おう

子供向けの忍者衣装のレンタルなども人気で、手裏剣投げ体験などを通して、忍者の世界を楽しく体験できます。

小田原城 NINJA 館

生命の星・地球博物館

相武台地区 ★大和市泉の森へハイキング

★場所：大和市上草柳 1728

引地川の水源を中心に、国道 246 号を挟むようにして約 42 ヘクタールが整備されている特別緑地保全地区

★おすすめポイント 「大和水源地」を中心に広がる泉の森は、野鳥や生き物たちをはぐむ緑地

自然観察センター・「しらかしのいえ」は自然をメインテーマとし、植物や昆虫や野鳥といった身近な生き物や、それらを取り巻く環境を観察、いまある自然と人間の関わり合いを、楽しく学び自然をテーマにした活動が楽しめます。

★おすすめコース 相武台前駅(バス利用)→さがみ野(徒歩で約 30 分)→

泉の森公園内(散策約 3 時間)

四季折々の楽しみがある (相武台地区実施は 6 月でした)

郷土民家園 江戸時代の古民家

しらかしのいえ 展示物

川での水遊びは涼を体感しつつバランス感覚育む

246 号高架下のアスレチック滑り台スリル満点

水車小屋 四季折々の変化も楽しめる

相模台地区 ★横浜港シンボルタワー・ニュースパーク

2024年7月28日 (日)

対象：小 4 ~ 中 3

参加者：23名

大人スタッフ：11名

交通手段：バス (市の派遣バス)

暑い日が予想されたので熱中症予防対策をすること、バスの中での時間の過ごし方に思案を要した。往路は質問付き自己紹介で和む。シンボルタワー休憩所で昼食+休憩(遊び)。脇の木陰で蝉の抜け殻をたくさん集めて子どもたちは、はしゃいでいた。シンボルタワーからニュースパークまではバスで20分ほど。プログラムの時間に合わせて移動。

■横浜港シンボルタワー

(<https://y-stower.com/index.html>)

本牧埠頭D突堤にあり、横浜港に出入りする船が安全に航行できるように信号を送っている。タワー展望室へは階段で登るが横浜港の様子が一望できる。タワー周辺には緑の広場もあり、通常は混雑が少ないので助かる。敷地内にはエアコン完備の休憩室もあり、各自持参したお弁当を食べた。

利用料
無料
駐車場 (有料)
大型バス 要予約

展望室をめざす

蝉のぬげがら

■ニュースパーク (日本新聞博物館)

(<https://newspark.jp/>)

「日本大通り駅」直結の建物。団体用のプログラムがいくつかあり、下見で担当の方と館内を巡りながら当日の流れも含めて相談。今回は巨大な横浜港周辺のジオラマを前にタブレットを使って取材体験をするプログラムに挑んだ。各自の取材内容によってそれぞれ違った新聞が出来上がった。

入館料
中学生以下無料
駐車場 (有料)
大型バス 要予約

取材体験中

新聞配達体験ゲーム

大野台地区 ★立川防災館・南極、北極館

5月24日、小4-6年生9名で「立川防災館」、「南極、北極館」の社会見学に行ってきました。
朝9時に古淵駅に集合して、各自で切符を購入や2回の乗り換えを体験して、10時に到着。現地では、

■VR 防災体験

台所での出火の3D映像が流れ、消火器の正しい扱い方を学習

■地震体験

本物そっくりの地震を体験し、地震の恐ろしさや普段の心構え、いざという時の行動力を身に付けられます

■オーロシアター

南極・北極で研究用に撮影されたオーロラの映像を、直径4メートルのドームスクリーンで視聴
様々な体験を行なうと共に、班行動により子どもたちの信頼関係も深めることが出来ました。

15時に古淵駅に無事到着。天候も良く、子どもたちと楽しい一日を過ごせました。

大沼地区 ★セミの羽化を見よう

大沼地区では、産業施設や史跡訪問といった社会見学は実施していませんが、活動拠点である公民館を離れた「現地での学び」と「体験」と解釈して「木もれびの森自然教室『せみの羽化をみよう』」を紹介します。

近くに森のある地域の特色を活かした活動として始まったこの事業は10年以上続いています。7月の後半、10組の家族を対象に、セミの幼虫が地面の穴から出

てきて木を登り、木の幹や小枝にしがみついで、羽化する様子を親子で観察します。そのため、我々スタッフは1時間早く集合してセミの幼虫が入っている穴を探して目印の旗を穴の横に立てます。参加家族は18時30分に集まり、まずは「グリーン相模原シェアリングネイチャーの会」の講師から30分程のセミに関するレクチャーを受けます。観察では、セミを刺激しないように懐中電灯に赤いセロハンを巻いて無事に羽化できるように祈りながら静かに神秘的な様子を見守ります。毎年終了時刻までに、羽を乾かす状態になることが多く、明日無事に飛び立てることを祈って解散します。

大野中地区 ★東京タワー・NHK 放送博物館

2年前の事業になりますが、大野中公民館青少年部の「夏の社会見学」で東京タワーとNHK放送博物館に行きました。ベタな場所かとも思えるのですが、近くにあってもなにかない場所でもあり、高所から東京を一望できる景色はやはり一見の価値があるものでした。

最近では近くに麻布台ヒルズが出来て東京タワーからの新たな眺望に加わりました。

展望台の床にはガラス張りの所もあり、子どもたちも喜んで東京の景色を眺めていました。

NHK放送博物館ではスタジオのセットもあり、自分たちが映る画面楽しそうに見入っていました。また、映像の歴史を見せる展示もしており、多分子どもたちよりも、大人が過去の歴史を感じられる物として感慨深く見学ができました。

東京タワー

放送博物館

上鶴間地区 ★生命の星・地球博物館 ロマンسカーミュージアム

上鶴間地区では、社会見学は、バスが使用出来る時はバスで工場見学等、バスが使用できない時は公共交通機関で行けるところに行っています。ここ最近では電車で行けるところに行っています。

昨年度は矢部にある麻布大学構内にある、博物館に行ってきました。

それ以前にバスで行った時は小田原にある鈴廣のかまぼこ博物館に行っかまぼこ作り体験をして、小田原の生命の星・地球博物館や海老名にあるロマンスカーミュージアムに行きました。

電車でもバスでも子どもたちの好奇心はいっぱいなので、これからも子どもたちが楽しんで学べる場所を探して行きたいと思います。

生命の星・地球博物館

ロマンスカーミュージアム

大野南地区 ★丹沢子ども自然体験教室

平成 31 年度に丹沢山麓で子ども自然体験教室に参加しました。
小田急小田原線で相模大野から秦野駅へ、
丹沢山麓の里山で水生生物の観察をしました。

- ・参加者：管区内小学校 3 年生～6 年生 保護者同伴
- ・講師は東海大学教養学部 北野忠教授
- ・協力：NPO 法人 自然塾丹沢ドン会の皆さん

その他にお勧めスポットとして、

- ・宮ヶ瀬ダム 水とエネルギー館
 - ・県立あいかわ公園
 - ・小田原かまぼこ作り体験
- 等があります。

東林地区 ★神奈川県警 横浜市電保存館

昨年行った横浜の「神奈川県警」「横浜市電保存館」をご紹介します。

「県警」では展望ロビー・通信指令室・交通管制センターを見学し、展示室（見学コーナー）で遊びました。

ちょっと困ったのは、県警前での乗降禁止と訪問時間の厳守！署内は撮影禁止なので、展望ロビーと展示室の写真だけ。

「市電保存館」では歴代の実物の展示車両や、ジオラマ・N ゲージ・運転シミュレーター等があり、電車好きには最適です。

津久井地区 ★そなエリア東京

津久井中央公民館事業「大人の社会見学」で東京臨海広域防災公園（そなエリア東京）を見学しましたので紹介いたします。

そなエリア東京（防災体験学習施設）は防災体験と防災学習の 2 ゾーンからなり、地震発生後 7 2 時間の生存力をつけるための知識を学ぶコーナーや、災害時の状況やタイミングに合わせた「きほんのそなえ」と人の特性や生活スタイルに合わせた「一人ひとりのそなえ」を具体的に学習でき、更に防災グッズなどもリアルに見て触れることができます。

近年、激甚化、頻発化する様々な災害から命を守るための心構えや知識と備えの重要性を、この施設の見学を通して再認識することができました。大人はもちろん子どもたちにも是非この施設に足を運んでいただき、ご家族で「災害へのそなえ」などについて一緒に考えていただければと思います。

そなエリア東京

ペットファニチャー

防災倉庫内の主な資機材

首都直下地震発生時の緊急災害現地対策本部

避難所再現風景

避難場所(冬期)

城山地区 ★そなエリア東京 がすてなーにガスの科学館

城山地区では今年度初めて「子どもの社会見学」の事業をすることになりましたが、この原稿を書いている時点では未実施（7月29日実施予定）なので見学場所の紹介をします。

- ① 『そなエリア東京』：江東区有明にある地震災害後の支援が少ない時間を生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習施設です。
- ② 『がすてなーにガスの科学館』：こちらは豊洲にあります。暮らしを支えるエネルギーの特徴やこれからの暮らし・社会、SDGs や地球温暖化などの社会課題について、体験しながら考え楽しみながら学ぶ施設です。

申し込み 2 日目で定員に達してしまい、期待の高さがうかがえます。安全第一で私達も楽しみながら行ってきたいと思っています。

そなエリア東京

そなエリア東京体験コース

がすてなーに体験コース

相模湖地区 ★地区内のお勧めスポット

相模湖地区では今夏初めて青少年委員会で見学旅行を実施する事業に協力します。
相模湖地区にある施設や自然についてほんの一部ですが紹介します。

- 小原宿…甲州街道の宿場の景観がのこっている
- 小原宿本陣…江戸時代の大名宿。当時の道具類の展示室もある
- 石老山せきらうさん…近隣の人々に有名なハイキングコース
- 顕鏡寺けんきやうじ…851 年開山の古刹。大木の蛇木杉、岩窟、奇岩、怪石が有名。大正時代の歌人 柳原白蓮が眠る。
- 相模ダム…1940 年着工、1947 年完成
相模湖として釣りやカヌーのレジャー施設が充実
- 相模湖漕艇場…相模湖にある各種大会ができる
公認コース設置
- 相模湖 MORIMORI…近年「相模湖プレジャーフォレスト」から改称。総合レジャー施設

小原宿

顕鏡寺

石老山

相模湖

相模湖漕艇場

相模湖 MORIMORI

藤野地区 ★藤野芸術の家

今回紹介するのは、「神奈川県立藤野芸術の家」です。中央本線藤野駅を降りバスに乗り、日連大橋、坂沢橋を渡ると藤野芸術の家が見えてきます。もともとは青少年の家でしたが、1995年に芸術の家に生まれ変わりました。旧藤野町には、戦時中多くの芸術家が疎開していたと言われ、約40年前にスタートさせた「ふるさと芸術村構想」の野外彫刻等の芸術作品がたくさん点在しており、芸術の家はそのシンボリックな存在となっています。「豊かな自然の中で、好きなことを、好きなだけ」をテーマに、工房体験、宿泊・キャンプ場、ホール・スタジオ等、イベント、レストランと、一年を通して大人も子どもも楽しめる体験型施設です。

わくわくさせる入口	レストラン 奥は宿泊棟	どこから行こうか

音楽スタジオ 隣はホール	工房：ガラス細工が有名	テント泊にバーベキュー

4月5・6日

桜まつり ～市役所前チビッコ広場～

【桜満開の第 52 回相模原市民桜まつり】

2025 年 4 月 5 日(土)・6 日(日)、第 52 回相模原市民桜まつりが 2 年続きの満開の桜の下で開催された。

2 月下旬から寒さが続き、「満開の市民桜まつり」を期待させたが、3 月に入って徐々に暖かくなり、日本気象協会の 2 週間天気から目が離せなくなった。3 月 21 日を過ぎて「5 月の気候」が続きその期待も薄れ、東京では 24 日開花宣言され、30 日に満開が予想された。「満開の市民桜まつり」も断念せざるを得ないかと思われた。

3 月 29 日、奇跡が起こった。気温の低下と雨により、開花した桜の花が「市民のために、もう少し我慢してやるか」と言わんばかりに開花の動きが止まった。

「ちびっこ広場」は満開の桜に覆われていた。青少指コーナーは、恒例の①創作、②さかなつり、③バンブーダンスの三つのコーナー。今年の創作は「かもめちゃん」。バンブーダンスは土曜日に実施しました。

終わってみると、カモメちゃんの創作:970 人、さかなつり:1100 人、バンブーダンス:180 人の子どもたちが参加してくれた。ありがとう!

青少指の参加は:5 日 80 人、6 日 85 人、お疲れ様でした。

では、各コーナーを覗いてみよう!

〈創作カモメちゃん〉コーナー

今年の創作は「カモメちゃん」。写真では面白みに欠けるが、下のゴム紐を持ち、ストローを上下に動かすか、ゴム紐を上下しながら引っ張ると、空を飛び回る可愛いカモメに変身する。子どもたちの目はこの飛び回る『カモメちゃん』を追いかける。

ハサミを持つ子どもたちはオモチャの工作者に変身。マジックを持つ子どもたちは画家の卵だ。写真では見えないその表情は真剣そのもの。

ゴム紐

ハサミでストローの先をチョキリ

マジックでカモメのくちばし・目・羽根に色塗り

〈バンブーダンス〉コーナー

バンブーダンスは土曜日の午後だけ。少し寂しい気もする。子どもたちは、イチ、ニー、サンの三拍子のリズムになかなか乗れないみたいだ。竹棒に挟まれるのを恐れて思い切って竹棒の間に飛び込めない者もいる。無理もないだろう。それでも子どもたちは挑戦している。

青少指は、初めて挑戦する子どもにはやり方を説明・指導する。両足が 2 本の竹棒の間に入ってしまったら、2 本の竹棒を飛び越えてしまったり、うまくいかない。むしろ青少指の方に根気が求められる。まさに教育現場。可愛いバンブーダンスを育てるためにがんばろう～!

バンブーダンスに挑戦する子どもたち

釣り堀にはたくさんの種類の魚

〈さかなつり〉コーナー

今年も定番の『さかなつり』。思い起こせば自分が担当していた頃・・・「列に並んで待つ子どもたち。さあ！出番だ。ブルーシートの釣り堀を回って自分の番号の位置に陣を取る。スタートの合図が待ちきれない。狙った魚の口元（クリップ）に釣り糸の磁石を近づける。違反すれすれ。合図を待つ」と、今でも『さかなつり』の情景が浮かんでくる。

??

「スタートの合図で釣り糸をおろす。磁石が魚のクリップにくっつく！はずだった。何だ！この風は！！風にあおられ釣り糸をコントロールできない」・・・『さかなつり』の情景は続く・・・「うあ～、釣れた！釣れた！心の中で叫ぶ。喜びを露わに出すと糸が揺れて獲物が落ちてしまう。そ～と、竿を手前に上げて魚を近づける。サ～と手でつかむ」

未就学児は、お母さんお父さんの力を借りて魚釣りを楽しんでいる。なかなか釣れない子どもを見ていると、狙う魚の選び方から、釣り竿の持ち方、釣り糸・磁石の動かし方まで、口をはさみたくなる衝動に駆られる。青少指の性か！

4月6日夕暮れ、今年も市民桜まつりが終わろうとしている。多くの子どもたちが参加し楽しんでくれた。われわれ青少指のこの1年間の活動は満開の桜でスタートした。事業企画部の皆さん、市民桜まつりの準備ありがとうございました。参加された青少指の皆さん、お疲れ様です。これからの活動頑張ってください！！

4月21日

青少年指導委員総会

～総合学習センター～

4月21日(月)19時30分から、総合学習センター4階 大会議室にて行われました。参加者は62名でした。

開会の言葉、会長あいさつに続き、こども若者未来局のこどもの居場所づくり担当 有本部長、子ども若者応援課 櫻井課長からの挨拶がありました。

子ども若者応援課長からは、本年度の組織体制と、青少年指導委員の委嘱状況の説明があり、欠員57名であることがわかりました。

議長選出と書記任命があり、広報部の川島さんと田代さんが議長、書記に任命され、議事に入りました。

昨年度の事業報告、決算報告、監査報告に続き、本年度の事業計画と予算収支について提案されました。

研修部からは、ブロックごとの特色を研修部内で広めるために、部内研修を行ったこと。ウォークラリーを企画中であること、「シビックプライド向上ゲーム」に取り組んでみたいことが報告されました。事業企画部からは、年間事業の実施体制の見直し、新たな事業への準備に取り組んでいることが報告されました。広報部では、広報誌の発行実績と、原稿協力への感謝が述べられました。また、あらたにホームページを立ち上げたことが報告されました。

いずれも異議なく、承認されました。1年の振り返りとこれからの見通しを立てることができました。

その他として役員選考委員会の山口委員長から役員選考委員会の紹介と各地区からの役員選出への協力依頼がありました。

最後に、行政からの連絡事項として学校教育課から、いじめ防止フォーラムの後援依頼があり、当連絡協議会として、どのようなことができるのか、考えるきっかけにもなりました。

4月26日

全体研修 ウォークラリー ～横山公園～

4月26日(土)に、相模原市立横山公園にて、ウォークラリーが実施されました。当日は各地区の青少年指導委員と交流でき、横山公園の魅力も再発見できました。

ウォークラリーは、晴天で気持ち良い天気のもと、9時30分～12時30分ごろまで行われました。最初にアイスブレイクが行われ、参加した皆さんが、それぞれ自己紹介を行い、皆さん趣味の話などで盛り上がりました。

プレートは植え込みの中！

アイスブレイクでは、組むメンバーがゲーム毎に変わり、気持ちがあぐれたところで、ウォークラリースタートとなりました。

ウォークラリーでは、最後のアイスブレイクで組んだメンバーと一緒にラリーを行うメンバーとなり、公園内に散らばるポイントを探し、そこに提示されたクイズを解いていきます。チームで協力しながらポイントを探しました。クイズが置いてあるポイントは、野球場の周囲、樹林広場、展望広場など公園全体にわたっていました。

私たちのチームでは、最後のひとつがなかなか見つかりませんでした。他のチームでも見つけるのに苦労したようです。最後のクイズのプレートは、意外な場所にありました。(植え込みの中！)

クイズの内容は、相模原市に関する問題が多く、例えば、相模原市で一番大きな公園は？とか、相模原市は何年に政令指定都市になりましたか？などが出題されました。また、1か所のポイントでは、スタッフとジャンケンをして、勝つまでそのポイントを通過できないという趣向もありました。

当日配られたラリーマップ

こんなところにも！

最後は正解したクイズの合計得点と、ゴール時間が、あらかじめ設定された目標時間への近さで決まる得点の合計で、チームごとに順位がつけられ、上位のチームには順位により景品が一人一人に配られました。

優勝したチームの面々

5月でしたので、公園の花々や緑が美しかったです。帰り際にツツジの写真が撮影できました。有意義なウォークラリーでした。企画した研修部の皆さんありがとうございました。参加された青少指の皆さんお疲れ様でした。

満開のツツジの花たち

八重桜もまだ咲いていました

私のおすすめスポット ～ふちのベトレジャーマップ～

今回は、少しばかり趣向を変えてご紹介いたします。青山学院生が行政と連携して作った『ふちのベトレジャーマップ』より、おすすめスポットを一気に9か所まとめて紹介します。

『ふちのベトレジャーマップ』は、中央区の公民館等に置かれているとのこと。青山学院大学の「わかばプロジェクト自由企画チーム」が相模原市中央区役所と連携して中央区の魅力を発掘・創造・発信するプロジェクト「わかば」が、淵野辺地区周辺のおすすめスポット・おすすめグルメを紹介したマップです。内容は下記 URL を参照してください。

併せて、『ふちのベトレジャーマップ』で紹介された「宇宙モチーフのマンホール」を探してみよう！（上の地図を参考にしてください。）

『ふちのベトレジャーマップ』の QR コードと URL

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/res/projects/default_project/page/001/030/090/06.pdf

「はげいとう」次号発行予定

☆第73号は2026年3月発行予定です。

はげいとう 第72号 編集スタッフ・編集後記（広報北グループ）

編集長	齊藤 一城（大野中）	今号の特集は各地区の社会見学です。各地区で個性がありますね。是非参考にしてください。
副部長	榎本 好二（星が丘）	今回は、あまり編集に参加できませんでした。チームワークの大切さが身に沁みました！
書記	歌川 俊子（清新）	☺☺☺☺☺
会計	渡辺 智美（橋本）	∴*+.¥((°ω°))/.:++
部員	吉成 朋子（相原）	\\¥¥¥('ω') // //
	赤坂 悦子（小山）	楽しみにしていた内容なので、多くの方に見ていただきたいですね。
	鈴木 悦子（大沢）	社会見学がなかったので各地区を参考に来年度取り入れたいです。
	君島 智子（横山）	部会の参加があまりできなかったため、他の広報部員の皆様に感謝しています。
	夏目 利江（中央）	なかなか参加できなくてー。皆さん、ありがとー！
	原田 俊治（大野北）	広報部員らしく、『原稿に追われる広報部員』を初めて経験しました。
	稲富 義彦（大野北）	各地区における社会見学の特色があって参考にしていきたいです。
	江成 侑一（田名）	地元の歴史を学びつつ、最後は焼き芋が食べられる田名散策は人気のイベントです！
	吉田 知美（上溝）	広報部会になかなか出席出来ませんが、上溝地区の活動を充実させようと思います。
	久保田浩敏（津久井）	社会見学に限らず色々な機会での参考にいただければと思います。
	砂金 富保（相模湖）	相模湖地域の「有名な観光地」に立ち寄ってみては！！
	青木 貴文（城山）	皆さんに助けて頂き感謝です。他地区の見どころ・事業、とても参考になります。
	篠原 真（藤野）	相模原の最西、芸術のまち藤野の魅力を伝えます。

★相模原青少指のホームページが出来ました

「相模原市青少年指導委員」で 🔍 検索

<https://www.sagami-portal.com/hp/dnt10148/>

★相模原青少指では X もやっています。

「相模原市青少年」で 🔍 検索

URL: <https://x.com/qHxdtN2PTG8Ue6t>